

米子市不登校等不適應行動への総合対策フローチャート

米子市の不登校の状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	
小学校	1年生	0	0	1	5	5	2	1	3
	2年生	0	0	3	4	6	7	7	8
	3年生	1	5	1	7	10	8	14	13
	4年生	7	7	6	1	8	15	17	20
	5年生	7	11	14	7	4	18	18	29
	6年生	12	14	17	19	13	12	26	26
合計	27	37	42	43	46	62	83	99	
中学校	1年生	12	16	14	20	16	20	21	25
	2年生	25	21	25	24	32	45	43	37
	3年生	22	21	25	34	23	30	62	39
	合計	59	58	64	78	71	95	126	101

【目的】

増加する不登校等不適應行動に対して、1次支援、2次支援、3次支援を整理し、可視化すること、併せて、その中核にアセスメントシートを位置付け、作成・活用することで効果的な支援を行うこと、これらの施策を通して、「新規の不登校児童生徒をうまない」「不登校になった児童生徒の学校復帰に対する手立てをする」「不登校児童生徒への学力保障と生活支援を行う」ことを目的とする。



多様な学びの場の保障



幼保小連携の取組

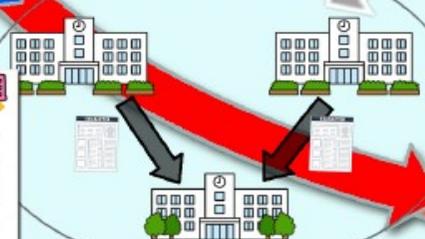


《0次支援》
引き継ぎシートによる
切れ目ない支援体制



《引き継ぎ》
学年間・学校間での
情報共有・情報伝達
に活用

A中学校区



小中一貫教育の取組

- 未然防止の取組
- ・自治の取組
 - ・特別支援の視点
 - ・授業づくり
 - ・学級づくり

米子市版APCシート



《機関連携》
プランニングのための
情報提供と役割分担、
効果的な支援の実行に活用

《組織対応》
関係者間の情報共有と
有効な支援・役割分担に活用

《初期対応》
アセスメント及び
有効な支援の検討
に活用

行き渋り・不登校等の不適應



米子市の施策の現状に関する整理（不登校対策関係）

状態 被支援者	未然防止・初期対応	教室に入ることが困難	人の多いところに行けない状態	
<div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">本人への支援</div>	<input type="checkbox"/> 楽しく安心な学校づくりプロジェクト <input type="checkbox"/> Q-Uアンケートの実施 <input type="checkbox"/> 米子市版スタートカリキュラムの実施 R3年度～ <input type="checkbox"/> 米子市版小中一貫教育の推進	ICT活用 <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒への自宅学習支援事業 R元年度～ <input type="checkbox"/> 多様な学び推進事業（eラーニング教材「すらら」のID発行）R2年度～	不登校児童生徒へeラーニング教材「すらら」のIDを発行し、米子フレンドリールームや家庭等での学習に活用 9月市内小学校でmeetを使ったオンライン学習を実施→不登校児童生徒への活用も模索中	
	スクールソーシャルワーカーと家庭児童相談室の一体となった対応で、関係機関とのつながりを深め、学校や児童生徒、保護者へのより効果的な支援につなげる。	多様な学びの場 <input type="checkbox"/> 校内サポート教室指導員の配置 R2年度～ <input type="checkbox"/> 校内適応指導教室の整備と指導員の配置 R3年度～	<input type="checkbox"/> 適応指導教室（米子フレンドリールーム）の設置・運営	
	<input type="checkbox"/> 関係機関との定例会及び個別のケース会議の実施 <input type="checkbox"/> 米子市版APCシート（アセスメント&プランニング&チェックシート）の活用 R3年度～ <input type="checkbox"/> スクールソーシャルワーカー活用事業 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校 切れ目のない支援体制（5歳児健診・合同情報交換会・就学予定児引き継ぎシート等）H30年度～ <input type="checkbox"/> こども総合支援会議 R3年度～	<input type="checkbox"/> スクールカウンセラーの全校配置	「こども総本部」設置 教育と福祉の一体的取組	
	「こども総本部」の設置により、教育と福祉が一体になって幼少期から学齢期、そして義務教育終了後を含め、切れ目のない支援体制がより一層充実する。	<input type="checkbox"/> フリースクール利用料の一部補助 R3年度～		
	すべての児童生徒が、学力を含めた「社会的自立」に向けて必要な力を身につけるための環境の整備・プログラムの設定・指導者の配置等 多様な学びの充実を図ることをめざす。		令和3年度から、米子市が認める民間のフリースクールへ通った児童生徒の保護者に対し、要件を満たした場合、利用料の一部補助を行っている。（米子フリースクールの場合、月額20,000円の2/3である13,200	

各学校では、教育相談、家庭訪問、別室対応、いじめアンケート等を実施し

○ 本市が単独または主となる事 □ 県が単独または主となる事業

■ 平成29年度以前 ■ 平成30年度以降 □ 今後の展望